

< 特別養護老人ホーム 愛泉苑の概要 >

★所在地 埼玉県加須市水深 869-1
 ★利用定員 愛泉苑 80床 愛泉苑ショートステイ 43床 愛の泉デイサービスセンター35名
 ★構造・規模 耐火建築物 鉄筋コンクリート造 地上4階建
 ★建物面積 延床面積 5022.48 m² (1階 1326.00 m², 2~4階 1232.16 m²)

<愛泉苑老朽改築工事 事業経過報告 >

2014年3月	施設事業用地としてあいせんハイム隣地を取得する。
2018年6月	埼玉県福祉監査課の実地指導監査において、食堂及び居室面積が狭くなっているため早期の改善を求められる。拡張するための大規模修繕は不可能なため、改築移転を計画する。
8月	愛泉苑改築委員会発足。以後、毎月1回以上定期会議を行う。 参考のため施設見学を行うとともに、複数の設計業者と面談を重ねる。
11日	第307回理事会において愛泉苑改築計画が承認される。
2020年1月	第314回理事会において株式会社新環境設計による改築案が承認される。
7月	愛泉苑の改築移転について、第1回住民説明会を開催する。
8月	埼玉県東部中央福祉事務所に改築移転に伴う申請書を提出する。
10月	令和2年度第1回埼玉県東部中央福祉事務所審査委員会に理事長が参加し施設設立計画を説明する。
12月	令和2年12月25日付で老人福祉施設設立計画に認可がおりる。
2021年2月	株式会社新環境設計と設計監理業務の契約を締結する。
6月	第327回理事会において愛泉苑改築資金計画と借入金担保提供について承認される。
7月	第329回理事会において愛泉苑改築に係る寄附金募集を行うことについて承認される。
8月	愛の泉を支える会臨時役員会において、寄附金募集活動を行うことが承認される。
9月	第330回理事会において愛泉苑改築工事請負一般競争入札公告の内容について承認される。
10月	愛泉苑老朽改築工事入札を行うが不落に終わる。
11月	第332回理事会において入札公告について改めて承認される。
2022年1月	再度、愛泉苑老朽改築工事入札を行った結果、古郡建設株式会社が落札する。同日行われた第333回理事会において、入札結果と古郡建設株式会社と契約することが承認される。
	第2回住民説明会を開催する。
	鍵入れ式を行う。
3月	埼玉県による着工時検査が行われる。
7月	2階の躯体工事を行う。
8月	3階床工事が完了し1階内装工事が始まる。
9月	4階床工事が完了し2階まで内装工事が進む。
10月	第340回理事会において老朽改築工事に伴う物品購入に関する一般競争入札の入札公告について承認される。
	4階部分の上棟が完了する。
11月	埼玉県による中間時検査が行われる。
2023年1月	物品購入に関する一般競争入札が行われ、株式会社キングランメディケア他2社が落札する。
3月	外装吹付工事、屋上防水シート工事が完了する。内装の仕上げ作業に入る。
	埼玉県による完成時検査が行われる。
	改築工事が完了し引き渡しとなる。

< 愛泉苑老朽改修工事収支内訳 >

収入項目	金額(千円)	支出項目	金額(千円)
埼玉県社会福祉施設整備補助金	265,000	改修工事費	1,301,300
埼玉県施設開設準備金	103,197	設計監理料	68,750
加須市補助金	1,000	備品費	154,347
独立行政法人福祉医療機構借入金	1,020,000	施設解体費 (2023年6月以降)	101,200
埼玉りそな銀行借入金	1,000		
自己資金 (寄附金含む)	235,400		
合計	1,625,597	合計	1,625,597



老朽改築工事 完成感謝報告

2023年3月25日

社会福祉法人 愛の泉

< はじめに >

昨年2月より埼玉県加須市水深の地で建設を進めてまいりました「特別養護老人ホーム愛泉苑」がこの度無事完成し、2023年4月1日より従来の場所から全面改築された真新しい建物に完全移転する運びとなりました。ご理解・ご協力をいただきました地域の皆さんと関係者の方々に、厚く御礼を申し上げます。

社会福祉法人愛の泉は、1945年に創立され、キリスト教を土台とした社会福祉事業を展開し、地域や関係各所の皆様に支えながら創立77年を迎えることができました。現在では、児童養護施設、乳児院、保育所、養護老人ホーム、特別養護老人ホームに加えそれらに関連する地域支援事業を運営する地域に根差した法人となりました。

「特別養護老人ホーム愛泉苑」は、1981年に開設ましたが、設備を含む建物の老朽化が著しかったことなどから、早急な改築の必要に迫られたため、時代に即した先駆的で自然災害や感染症予防に強い施設づくりを計画しました。低料金な従来型特別養護老人ホームを全室個室で設計するとともに、自然災害に対応できる施設にするため、井戸プラントや自家発電設備を設置しライフルайнの確保に備えました。また、地域に開かれた施設にするために地域交流スペースを置き、地域の活動や会合にもご利用いただけるようにしました。

ここを利用する全ての方が、安全で良質な住環境の中で、幸福に包まれた穏やかな日常を感じることができます。最後になりますが、今後とも皆さまのご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

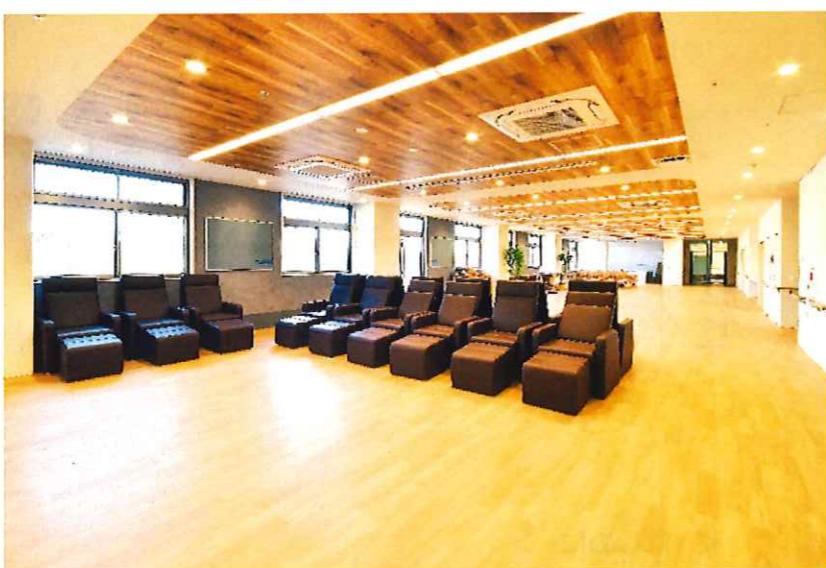


▲新しく生まれ変わった愛泉苑

新しくなった愛泉苑を ご案内します



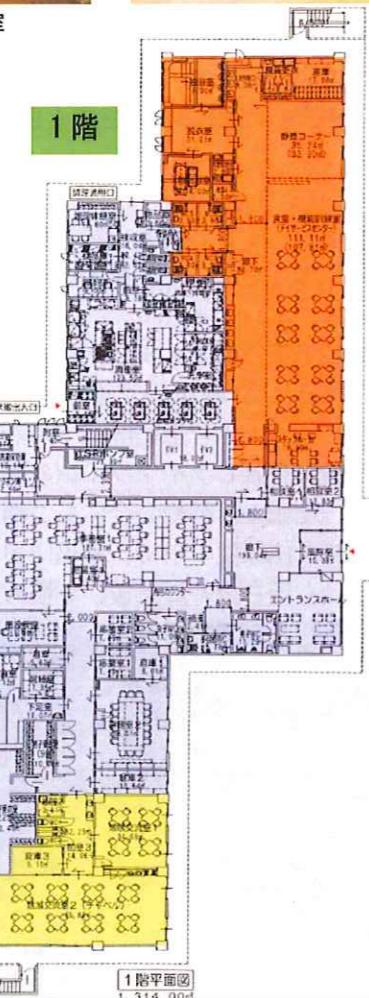
▲ゆったりくつろげるデイサービスの浴室



▲デイサービスセンター：天井を4分割して大きな空間
でりながら落ち着いて過ごすことができる。



▲厨房：入居者の食事と在宅用のお弁当を作
る。HACCPに対応した設備を備える。



▲「AISENEN（愛泉苑）」のサイン文字がお出迎え



▲エントランスホール：もてなしの色である赤
をアクセントにしたシックな内装

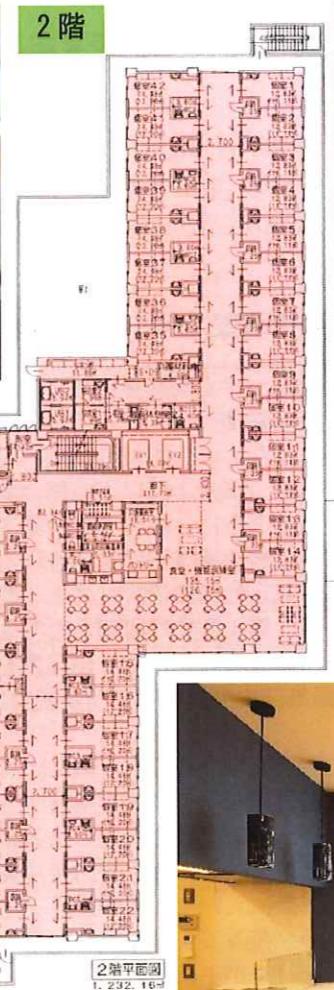


▲中庭に面した地域交流室（左）正面には当法人の理念キリスト教の象徴である十字架とステンドグラス（右）

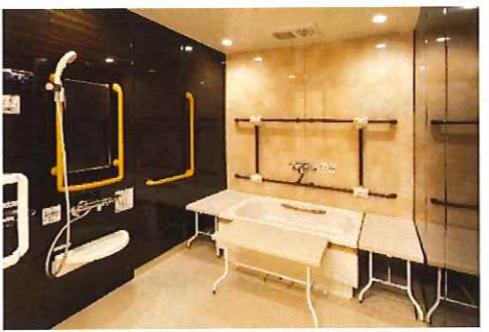
- 持別養護老人ホーム
- 短期入所施設
- デイサービスセンター
- 地域交流スペース
- その他共用



▲明るく開放的な2階テラス



▲全室個室の從来型特養。職員の負担軽減と埃だま
りを防止するためにコンセントを腰の高さで設置
するとともに、ベッドの頭の向きがどちらでも対応
できるようにコンセントを配置した。



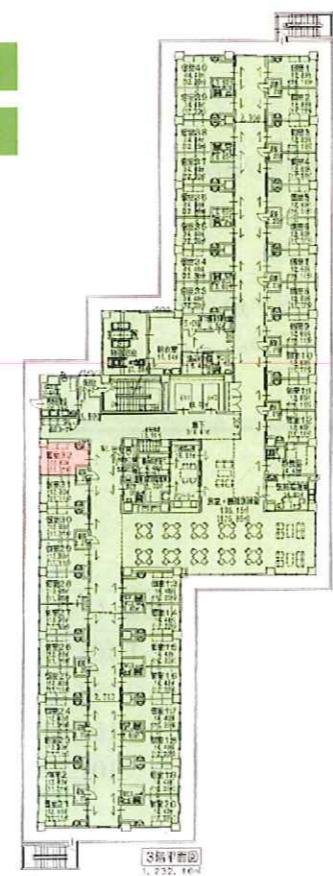
▲各利用者様の状態に対応できる浴槽設備



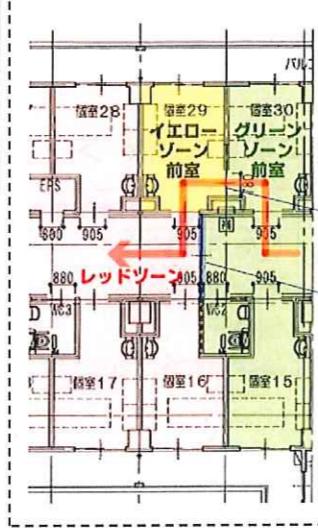
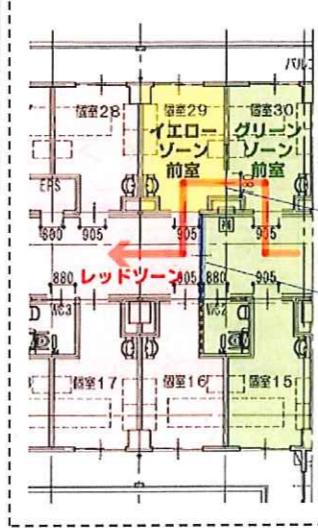
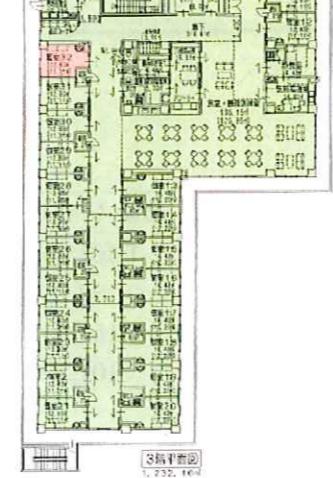
▲医務室



▲建物中央にある食堂からは眼下に東北道、彼方には筑波山が見える。



4階



感染症への備え

感染症発生時に2階から4階の廊下の途中に大きな引き戸（図中①）と、居室空間を通過できる扉（図中②）を設けた。大きな引き戸を閉じ、廊下を2分割することでレッドゾーン（危険領域）をつく
る。大きな引き戸付近の居室はグリーンゾーン（安全領域）前室となり、居室間通過扉を経て、イエロ
ーゾーン（中間領域）前室、そしてレッドゾーンへアクセスすることができる。

また、バルコニー経由で汚物処理室へアクセスでき、分離動線で汚物を運搬できる。